

# 京都勤労者学園

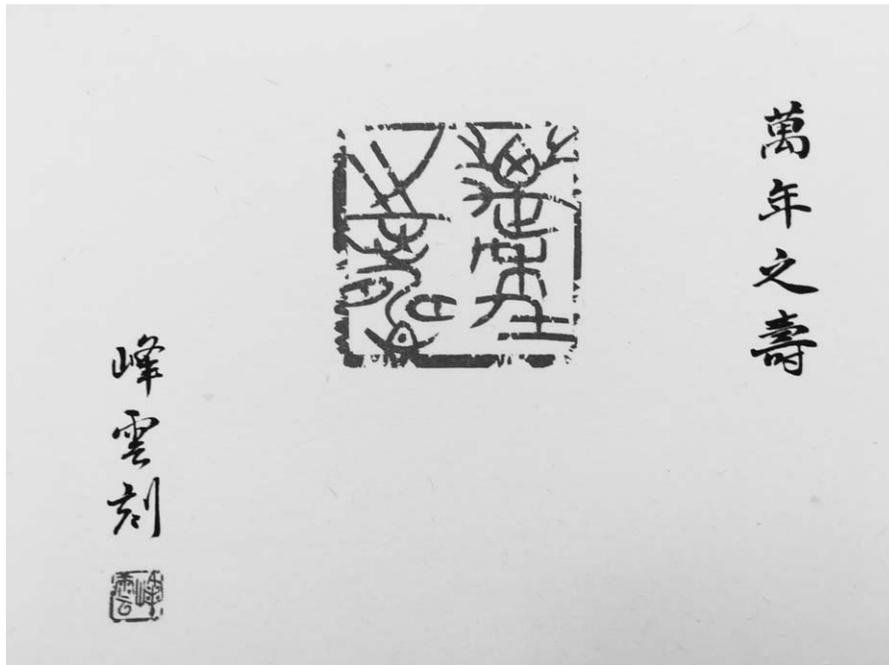
題字は京都労働学校初代校長、故住谷悦治先生の筆です。

**ラポール学園**  
(公益社団法人京都勤労者学園)

京都市中京区壬生仙念町 30 の 2  
ラポール京都 3 階  
電話 075(801)5925 FAX 075(812)1508  
ホームページ <http://www.labor.or.jp/gakuen/>  
e-mail [gakuen@labor.or.jp](mailto:gakuen@labor.or.jp)  
フェイスブック <https://www.facebook.com/kyoto.labor.gakuen/>  
ツイッター @LaborGakuen

編集・発行 責任者 安井由美子

2016. 1. 1 発行



前川 峰雲先生の作品

府市民教室「入門・篆刻」教室 (月2回 第2・4木曜 午前)

教室の紹介は P 8 に掲載

あけまして  
おめでとらござります  
本年もよろしくお願いいいたします

### 役員員一同

- |      |                   |
|------|-------------------|
| 学園長  | 小畑 史子(京都大)        |
| 専務理事 | 安井 由美子            |
| 理事   | 杉山 雅人(京都大)        |
|      | 寺井 基博(同志社大)       |
|      | 坂井 岳夫(同志社大)       |
|      | 佐藤 敬二(立命館大)       |
|      | 斎藤 真緒(立命館大)       |
|      | 脇田 滋(龍谷大)         |
|      | 小西 一実(連合京都)       |
|      | 赤瀬 史(連合京都)        |
|      | 井上 信治(連合京都)       |
|      | 佐々木 眞成(京都総評)      |
|      | 松本 隆浩(京都総評)       |
|      | 和久 輝幸(京都府)        |
|      | 松森 敏郎(京都市)        |
| 監事   | 木村 守(税理法人京都北山事務所) |
|      | 吉岡 崇(連合京都)        |
|      | 山縣 哲也(京都総評)       |
| 顧問   | 山田 啓二(京都府知事)      |
|      | 門川 大作(京都市長)       |
|      | 望田 幸男(同志社大学名誉教授)  |
|      | 千田 忠男(同志社大学名誉教授)  |
|      | 三村 義夫(元専務理事)      |
|      | 西井 正弘(京都大学名誉教授)   |
|      | 菊池 光造(京都大学名誉教授)   |
|      | 西村 健一郎(京都大学名誉教授)  |
|      | 吉田 美喜夫(立命館大学総長)   |
|      | 二場 邦彦(立命館大学名誉教授)  |
|      | 宮川 治(元JAM京都委員長)   |
| 職員   | 河原田 眞弓            |
|      | 上寫 淑子             |
|      | 岡 晃子              |
|      | 船越 眞優子            |
|      | 半田 敏照             |

- P 1 ~ P 3 年頭挨拶
- P 4 京都府労働施策
- P 5 2015年秋の公開セミナー実施報告・求職者支援事業紹介
- P 6・P 7 労働学校友の会イベント報告・労働セミナー案内・英会話教室紹介
- P 8 「入門・篆刻」教室紹介・府市民教室有志による作品展など

### 年頭の挨拶

学園長

小畑 史子

(京都大学)



## 新年明けまして

## おめでとうございます

日頃は、京都勤労者学園の運営にお力添えくださり、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

この一年、日々の生活の中で時間を捻出し教室に通って学ばれる皆様に、いかにして重要な情報をお伝えし、また学びの世界を楽しんでいただけるかに注力して参りました。さらに、勤労者生活の入口に立たれる皆様

が、ソフトランディングされる環境を整える事業に邁進して参りました。それらをどの程度まで達成することができたかは、皆様のご評価をお待ちするよりほかございません。皆様がお寄せくださったお声を肝に銘じ、今年もさらなる努力を重ねていく所存でございます。

今年、日本の社会が、そして職場が向き合う大きな課題の一つは、間違いなく「ダイバーシティ」であると存じます。グローバル化、労働力人口の減少、一億総活躍社会等、昨今の日本の雇用社会のキーワードを見れば、いかに「ダイバーシティ」が重要な課題かが浮かび上がります。社会的な活動の場面でも、また職場においても、外国人や女性、高齢の方々、障がいをもつ方々が広く活躍されています。

近年のわが国の法改正や裁判例の動向から明らかなように、外国人であっても日本人であっても、性別がどうであっても、妊娠していてもいなくても、育児・介護をしていてもいなくても、高齢であってもいなくても、障がいも有していてもいなくても、社会的な活動をするに際し、また働くに際し、合理的な理由なく活躍の場を狭められてはな

りません。例えば、従来通りのスタンスで仕事をしたいという意欲を持つている育児休業明けの女性労働者に対し、育児をしていれば責任の重い仕事を任せるのは本人のためにならないと決めつけて、業務上の必要性や合理的な理由がないにもかかわらず、降格することは許されません。また、障がいをもっているのであれば、単純な作業を繰り返す部署に配置するのが絶対安全で本人のためになると決めつけて、合理的な理由がないにもかかわらず、本人の意向を無視して長期間同じ仕事をさせることは許されません。善意や配慮から出た行為であっても、思い込みや決めつけにより、チャレンジの希望を摘み取る行為は許されないとという法律や裁判例が現れて

います。こうした状況からは、常識と考えられてきたことが、普遍的に正しいと言えるのかを検討する必要があります。行動する前に、立ち止まって様々な視点から深く考察し、真理を探究する場を持つことが、ダイバーシティの時代を生きるために重要です。そのような場を持つために、多忙を極める日常生活の中で時間を作り、受講生の方々が京都勤労者学園にお越しくださいます。そのご期待にお応えすることが、学園の最も重要な使命であると肝に銘じ、今年も努力を重ねることをお約束し、年頭の挨拶とさせていただきます。本年も一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 年頭の挨拶

京都府知事

山田 啓二



## 「文化創生」から

## 新たな京都を

府民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返って

昨年7月には、長年の悲願であった京都の南北軸、京都縦貫自動車道が34年という長い歳月

をかけてようやく全線開通しました。京都全体に大きな流れを創るこの大事業の完成に尽力された全ての方々に、心からお礼を申し上げます。

この開通を期し北部7市町においては、4カ月にわたり「海の京都博」を開催し盛り上げていただきましたことに対しましても感謝申し上げます。

また、昨年は琳派400年記念事業、さらに国宝「東寺百合文書」と第二次世界大戦後のシベリア抑留者等の引き揚げ記録「舞鶴への生還」の世界記憶遺

産登録。そして「日本茶800年の歴史散歩」京都・山城」の日本遺産への認定など北から南まで京都の持つ豊かな文化を示すことが出来た一年でした。

しかし、地方消滅とまで言われる少子・高齢化問題や、雇用情勢が好転すると顕著になる人材不足。円安により輸出産業が伸びる一方、内需型中小企業は原材料高に苦しみ、伝統産業も広幅織物は伸びたのに対し着物の需要はまだ低迷、さらにはPPP問題で農林水産業には懸念が広がるなど、さまざまな

課題が改めて浮き彫りになった年でもありました。京都流の地域創生へ こうした課題の克服と同時に、京都の力を最大限に発揮して、京都の将来を切り拓くことができるよう、昨年10月、「京都流地域創生」「文化創生」から新たな生活を」とをテーマに「京都府地域創生戦略」を策定しました。

こうした問題の背景には東京一極集中や、大都市や大企業志向に代表されるような価値観の

固定化が進む中での格差の広がりがあり、社会が柔軟性を失いつつあるのではという危惧があります。今、京都から、少子化問題・子供の貧困対策、若者の就労支援などでもう一度「人づくり文化」を確立させ、マネーゲームにはない真の豊かさを取り戻すために産学公の力を結集し、技術力に裏打ちされたものづくりの素晴らしさを広め、京都の豊かな農林水産資源を六次産業へと発展させる時代を踏まえた「産業文化」を育成し、京都ならではの伝統・文化に恵まれた大都市と豊かな自然をもつ田園の両方の魅力を受容できる、ある面贅沢な「京都ぐらし文化」を創生させなければなりません。

そしてこうした文化を統合させ、京都が多様性に富み、躍動的な地域として魅力を世界に発信できる「地域づくり文化」へと昇華させていくことが必要だと考えています。

これからの数年は京都の将来を左右する大事な時です。地域創生は他人事ではなくまさに私たちの未来です。

京都には、どこにも負けない歴史と伝統があります。さらには世界水準の大学・研究機関、高い技術力を持った中小企業の集積、豊かな自然環境など魅力的な資源や資産をたっぷり有しています。

### 「もうひとつの京都」の発信

昨年は「海の京都」を見ていただきました。そして今年には「森の京都」です。京都府の74.3%は森林であり、森は私たちの水を清め、空気をつくり、災害を防ぎ、さらには貴重な木材資源を提供してくれます。何にも代えがたい宝である京都の森の素晴らしさを皆さまとともに分かち合い、次世代に引き継ぐため、「全国育樹祭」を中心に、森の恵みを府民の皆さまに体感していただく「森の京都博」や丹波高原の国立公園の新規指定など、林業の振興と自然保護と森の文化が一体となった「森の京都スタイル」の確立を目指した地域づくりを進めることとして

います。

こうした素晴らしい森林を未来に受け継いでいくための財源として、「豊かな森を育てる府民税」の導入を昨年、府議会でご議決いただきました。4月から年600円お願いくことにしますが、どうか府民の皆さまに、この税に対するご理解をいただきたいと思います。

京都の未来を拓く人をつくり、地域経済を活性化させて仕事をつくり、京都への人の流れをつくる。さらには新しい交流の中で持続可能で魅力と活力のある地域をつくり、そして京都から日本を変える新たな「文化創生」。今多くの観光客が京都を目指しています。単に名所旧跡がある

からだけではなく、京都の持つおもてなしの心、人を癒す環境、ほんまもんが持つ力が人々を引きつけているのだと思います。

今年、リオデジャネイロでの夏のオリンピック・パラリンピックが終わればいよいよ東京オリンピック・パラリンピックへの道のりが始まります。その皮切りが、秋に京都で行われる国主催のスポーツと文化の国際フォーラムです。京都の「文化創生」はいよいよ本番を迎えます。府民の皆さまのご協力を心からお願ひし、この一年の、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

### 年頭の挨拶

京都市長

## 門川 大作



# 「共汗」のまちづくりが着実に前進！共々に明るい未来へ！

あけましておめでとうござい  
ます。

この一年の皆さんの御多幸を  
お祈り申し上げます。

皆さんの御支援をいただき、  
市長就任後8回目の新年を迎え  
ました。この間、現地現場主義

に徹し、六千箇所以上の市民の皆さんの活動の場、市政の第一線を訪ね、京都の今と未来を見つめ、市政改革に邁進してまいりました。その度に、改めて京都の地域力、創造力、それらを支える皆さんの人間力に感動し、

### 感謝感謝の日々です。

多くの方からこんな声をいただきます。デイサービスセンターが近くにできて喜んでます。京都のまちが、趣のある看板や「門掃き」などで美しくなってきましたね。待機児童ゼロ！保育所に入りやすくなり、幼稚園も充実。さらに小・中・高校が地域、PTA、教職員の熱意により画期的に良くなってきましたね。市バス、地下鉄が便利になり、お客様も増えてますね。観光人気都市世界一は私たちの誇りです。京都の都市格の高まりを実感しています。水族館に続き、動物園、動物愛護センターが素晴らしい！ロームシアター京都、

鉄道博物館の開館が楽しみです。

市民の皆さんと共に汗する「共汗」を進めてきた施策の確かな前進を、肌で感じています。府市協調で二重行政を打破し、行政の効率化と行財政改革の断行で財源を確保。また市民の皆さんの御協力でごみは43%減り、年間ごみ処理のコストは106億円削減、福祉等の充実へ。歩くまち京都・公共交通優先の取組も着実に進展。マイカーで入浴する方はこの20年で42%から9.9%に減少。四条通の歩道拡幅も御心労おかけしましたが、工事が完成し歩きやすくなり、バスの運行もほぼ順調に。福祉と共に、子育て環境日本一を目

指す施策も前進。そんな京都で子育てしたい、住みたい！という方が増え、転入される方も増えてきました。

しかし、市民の皆さんや中小企業の皆さんが豊かさを実感されるまでには至っていません。まだまだ課題も山積。京都ならではの文化力、知恵を活かし、経済の活性化、安定した雇用の創出につなぎ、市民の皆さんに「京都に住んでいてよかった」と心から感じていただけるよう誠心誠意努力します。そのためにも文化庁を京都に！オール京都で取り組めます。皆さんの御理解御支援に改めて感謝申し上げます。

## 京都府労働施策紹介⑫

京都府 労働・雇用政策課

# 京都中小企業労働相談所を御利用ください

京都府では、労使関係のトラブルについて労使双方からの相談に応じるため、京都テルサ（京都市南区）内に「京都中小企業労働相談所」を設置しています。

## 労働相談の実施状況

労働相談所では、一般相談（月～金 9時～17時）に加え、夜間、土曜日に社会保険労務士による相談を実施しています。

各相談の実施時間、平成26年度の相談件数は次表のとおりです。

### 京都中小企業労働相談所の相談

	相談時間	平成26年度の件数(件)
一般労働相談	月～金 9:00～13:00、14:00～17:00	1,790
非正規労働ほっとライン（社会保険労務士による相談）	土 9:00～13:00、14:00～17:00	399
若者等労働ホットライン（社会保険労務士による相談）	月～金 17:00～21:00	※ 112
★特別労働相談（弁護士による相談）	第3木曜日 13:00～16:00	60
★働く人のメンタルヘルス相談（産業カウンセラーによる相談）	第2水曜日 13:30～16:30	24

★：予約制。京都中小企業労働相談所で予約受付

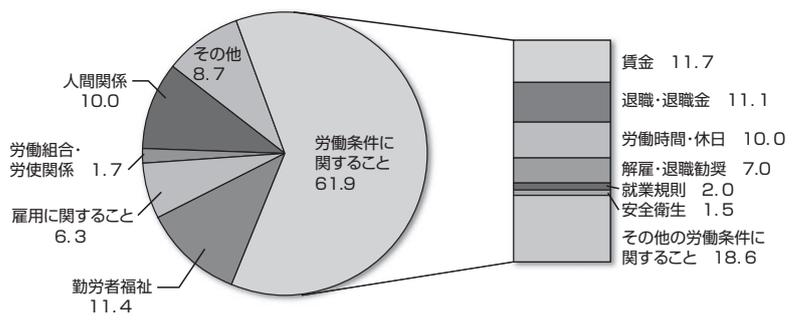
※若者等労働ホットラインは、26年度は金曜日夜間のみ実施

平成26年度の相談者のうち33%は、パート・アルバイト・派遣等の非正規労働者が占めています。

相談の内容は、労働条件に関する相談が約6割を占め、その内訳を見ると「賃金」（賃金未払い、最低賃金等）、「退職・退職金」（退職手続き、退職金未払い）、「労働時間・休日」（年次有給休暇、長時間労働等）に関する相談が多くなっています。

また、労働条件に関する相談以外では、「勤労者福祉」（労働保険、社会保険等）、人間関係（職場の人間関係、パワーハラスメント等）が多くなっています。

平成26年度 労働相談内容別の割合(%)



## 専門家による労働相談を実施しています

中小企業労働相談所では、複雑な相談に対応するため、専門的なアドバイスを行っています。

弁護士による相談では、法律解釈、判例紹介、訴訟手続き等のアドバイスを行っています。

また、産業カウンセラーによる相談では、職場の人間関係や働き方等、仕事に関する悩みの相談に応じています。どちらも予約制で、来所での相談です。

## どんなことでもお気軽に御相談ください

中小企業労働相談所には、問題解決のための強制力はありませんが、経験と専門知識のある相談員が相談に応じています。まず、相談者のお話を伺いながら問題を整理し、その上で相談者の方がどうしたいと考えておられるかお聞きして対応をアドバイスします。また、必要に応じて京都府労働委員会、労働基準監督署、ハローワーク等の関係機関を御紹介します。「どこに相談すればよいかわからない」という場合は、一人で悩まずお気軽に御相談ください。

京都中小企業労働相談所 フリーダイヤル（京都府内限定）

なやむ るーし（労使）

0120-786-604

電話：075-661-3253 FAX：075-692-3452 京都市南区新町通九条下ル 京都テルサ西館3階

相談はすべて無料です。

求職者  
支援事業

# 「簿記・経理・総務オフィス実務科」の コンセプトと実績

当学園の求職者支援事業は、求職に当たって事務職をめざす方を対象とするコースを設定し実施してきました。

訓練は、初心者でも簿記二級が取得できる程度の知識と実務能力が習得できるよう指導し、併せて、人事・労務管理、労働・社会保険、経理事務、給与計算、年末調整についても学習し、事業所において必要となる総務、経理の事務処理ができる人材を育てる内容になっています。

訓練期間は四ヶ月、訓練日数は八十日、訓練時間は四百六十八時間で行っています。訓練科目と時間数は、簿記三百時間、経理十二時間、税務十八時間、人事・労務管理二十四時間、労働保険十八時間、社会保険三十時間、給与計算十二時間、年末調整十八時間、職業能力基礎講習三十時間、職業人講話六時間となっています。このように、簿記の訓練時間を全体の六四％の三百時間をとっているのは、簿記三級、二級の資格の取得が出来るよう配慮しているからです。求職者訓練の目的はあくまで

も就職を目的とするものですが、事務職に就職する場合、求人票に簿記三級、二級、特に二級の資格を持つていることを条件として挙げている事業所が多いという現実があります。実際、「簿記・経理・総務オフィス実務科」のコースを希望される求職者は、この訓練を選択した動機に、求人に応募しても書類選考の段階で簿記三級、二級の資格を問われ面接までいけない現状を書いております。

こうした要望に応えるべく、簿記の資格取得を通じていち早く就職のゴールにたどり着くよう簿記の訓練に力をいれ、日商簿記三級、二級の試験に合格できるよう指導に力を入れていきます。

二〇一四年度(平成二十六年)は六月、十月、十二月開講と三回訓練を行いました。各コースの日商簿記検定の合格者以下の通りです。  
●平成二十六年九月開講分：二級―八名受験して四名合格(合格率五〇％)、三級―九名受験して七名合格(合格率七七・

八％)、なお、京都の合格率は二級三二・二％、三級三五・八％でした。

●平成二十六年九月開講分：二級―十一名受験して五名合格(合格率四五・五％)、三級―十名受験して八名合格(合格率八〇％)、なお京都の合格率は、二級三一・二％、三級三五・八％でした。

●平成二十六年十二月開講分：二級―八名受験して四名合格(合格率五〇・〇％)、三級―七名受験して六名合格(合格率八五・七％)、なお京都の合格率は、二級二三・〇％、三級五二・五％

でした。このように、二級、三級とも京都全体の合格率に比較して高い合格率を残しています。就職率も、六月開講コースでは、七五％、九月開講コースでは七一・四％、十二月開講コースは若干就職率がダウンして六〇％でした。就職者全員が事務職に決まった訳ではありませんが、事務職の求人倍率が低い中では、健闘しているのではないかと評価しているところです。また、本訓練を修了された訓練生で三ヶ月以内に税理士事務所に正社員で採用された方が十四名おられるという事は、本訓練内容が就職にうまく結びついている成果ではないかと実感しております。訓練を受けた感想では積極的評価する声が多かったのです。その一つが以下の感想です。

「日商簿記の合格に向けて、先生が大変丁寧な教えてくださり、授業後も補習や自習の時間についてもサポートをしてくださったので、学習時間二ヶ月でしたが、初心者でも二級、三級に合格する事ができました。簿記取得を目指す方には是非おすすめです。一回目の受験で合格を目指したい講座になります。ただし、もし一回目の受験で合格を目指すのであれば(特に簿記初心者)短期間の勝負になりますので、日々の復習はかせませぬので、合格に向けて強い気持ちが必要。この講座は、ビジネスマナー、経理、総務実務を総合的に実践的に学ぶ事ができるので、社会人経験のある方には、知識の定着、発見の面からも、おすすめしたいです。」(ハローワークのアンケートから)

## 秋の公開セミナー実施報告

### 9月14日(月) 「ハラスメントのない 職場を目指して」

講師：三木啓子 (産業カウンセラー・  
アトリエエム (株) 代表取締役)



今回のセミナーでは、ハラスメントの定義や事例を紹介するとともに、ハラスメントを予防・解決する方法や、上司の立場から部下に指導する際のポイントなどを、わかりやすく解説していただきました。

ハラスメントかどうかを判断する基準にも触れられ、職場などでよくある光景が実はハラスメントだったと気づかされる場面が多くありました。

今まさに職場の問題に直面されている方から、毎回セミナーを楽しみにして来て頂いている方まで、それぞれに近年問題になっているハラスメントを深く理解する良い機会になったのではないのでしょうか。

## セミナーのご案内

本学園とNPOあったかサポートの協働事業として、家庭と仕事の両立に悩んでいる方、健康や老後が心配で今後の働き方に悩んで入る方、老後の年金や医療制度を学びたい方などを対象に、労働・雇用と社会保障制度について学び考えるセミナーを開催します。ふるってご参加ください。講師はいずれも社会保険労務士です。

### 1 老後の不安とあなたにとっての年金制度

2/17水曜 2/24水曜

講師：宮原千代美、関根文美

1-1 2016年2月17日(水)

- 老齢(退職)、障害、死亡など保険事故と公的年金制度の役割
- 老齢(退職)、障害、死亡に伴う年金給付に問われる受給資格や受給要件
- 国民年金と厚生年金など被用者年金との保険料負担の仕組みの違い
- 国民年金と厚生年金など被用者年金との年金支給額の仕組みの違い

1-2 2016年2月24日(水)

- 65歳までの雇用確保措置義務と60歳以降の働き方の選択
- 男女で異なる老齢厚生年金の支給開始年齢と支給される老齢や遺族年金
- 60歳以降働いて得た賃金と年金支給額が調整される仕組み
- 老齢年金の給付と雇用保険の給付との調整の仕組み

### 2 女性が働き続けるための基礎知識

3/16水曜 3/23水曜

講師：小松麻利子、古賀千恵子

2-1 2016年3月16日(水)

—様々なデータから学ぶ今の職場と社会の現実—

- 「女性の活躍推進法」は、女性にいま何を求めているのか?
- セクハラ、マタハラ、いじめやいやがらせなど働く女性の職場環境
- 労働時間、賃金、休暇、保育施設など女性が働き続けるための条件整備
- 性別役割分業の固定化と「103万円の壁」や「130万円の壁」とは何か?

2-2 2016年3月23日(水)

—女性が働き、生きるための社会保険の上手な活用方法—

- 妊娠・出産・育児など女性を保護する法律や社会保険の役割
- 男女雇用機会均等法や育児介護休業法を職場で活かすために
- 国民年金の第3号被保険者制度と将来を見据えた女性の経済的自立
- 結婚、離婚、死亡に伴う年金の種別変更や離婚時の年金分割の仕組み

#### 上記セミナー共通

時間 午後6時30分～8時30分

参加費 各回500円(資料代含む)

持ち物 筆記用具

会場 本学園

\*本セミナーに限り、申込は本学園窓口のほか、以下のNPO法人あったかサポートのFAX・メールでも受け付けます。  
FAX (075-352-2646)、メール (attaka-support@r6.dion.ne.jp)  
受講者の住所・氏名・年齢・電話番号・参加セミナー名とセミナー番号をお知らせください。

#### 労働学校友の会・第二十八回イベント報告

### 堺の歴史と文学散策

(二〇一五年九月二十七日実施)

今回二十二名で京都を出発。ポランティアガイドさんと堺市役所前駐車場で合流し、二十一階展望ロビーへ一気に上る。あいにくの薄曇りで遠くの山までは霞んでいたが、仁徳天皇陵古墳を始め周辺にある中小古墳、堺のまちが眼下に広がり堺市のおおまかな話を知れる。

次は仁徳天皇陵古墳まで移動。近くから見ると一年中緑の森なのですが、博物館で考古学的な資料映像を見て建設時をイメージしました。

昼食は観光助成金の一部を利用して「穴子御膳」。穴子づくしの御料理を堪能しました。

昼食後、徳川家康の立派な墓があるという南宋寺でガイドさんの巧みな話術の説明を受ける。墓建立の話や千利休の生家の話など堺市にかかわる歴史の目に見えない深い話に感動しました。

堺鉄砲館では発砲までの火縄銃を仕掛ける手順を見せていただき、実際に担いでみる体験も出来、その重量感にはびっくりしました。

千利休屋敷跡、与謝野晶子生家跡をへて最後に堺伝統産業会館で堺名品の包丁の展示を見てお土産を物色して、ガイドさんとお別れする。

精力的な声の大きいガイドさんのおかげで一日だけでしたが堺の町を詳しく知ることができたのではと思いました。



# ラポール学園の講座をチェック！① ラポール英会話教室

**担任制・固定制**  
**しっかりした基礎が身につく**  
**(募集は3月・9月)**

ラポール英会話教室では、現在約600名の受講生が学んでおり、3分の2以上が継続受講しています。その高い継続率を支えているのが、クラスに対する満足度です。アンケートによる調査でも「クラスが楽しい」「講師の教え方がわかりやすい」「実際に通じる日常の会話を教えてくれ、旅行の際に助かる」など、常に高い評価を得ています。その理由を、当学園主任講師のジャスティン・ベイルズ先生から紹介してもらいましょう。



ジャスティン・ベイルズ先生

I believe that the main strengths of this school versus chain schools are that we can choose the best textbooks we can find each year and that we can tailor our lessons to suit the people of Kyoto. In addition we have a very loyal student base who come year after year. I feel they come primarily because of the quality of lessons and the friendships that they make in classes, rather than the price of the lessons. The school is therefore in a good position for the future.

ジャスティン先生が言うように、ラポール英会話教室の魅力は、数年間に渡って学ぶ継続受講生が多く、受講生同士が共に学ぼうとする、思いやりや協力的なクラスの雰囲気ができていることです。そのためペアワークでも、互いに間違いを気にせず、楽しく積極的に英語を話すことができます。それに加え、講師は語学教育の専門家としての資格を持ち、多人数のクラス運営について訓練を受けていることはもちろん、毎年講師が十分に話し合って選ぶテキストと、テキスト以外のオリジナルの補助資料で、例えば外国人観光客へ京都の有名社寺への道案内にも答えられるよう、実用的なフレーズについても指導を行い、実際に使え

る英語を教えてもらっていると好評を得ています。

クラスは9～15名のグループレッスンで、毎週同じクラスを同じ講師が指導する固定制・担任制であり、講師がクラスやレベルに合わせたカリキュラムに沿って、丁寧に授業を行っていきます。授業時間は2時間。それを長く感じる方がいるかもしれませんが、会話練習を中心に、前回の復習を兼ねた宿題の答え合わせから、新しく学ぶ文法の説明や、その文法を使った会話・発音練習、ロールプレイ形式のペアワークなど、様々なアクティビティーを通して、しっかりと学ぶことができます。

また、受講生一人ひとりのレベルに合ったクラスで学んでもらえるよう、新規受講生のためにレベルチェックを実施し、【発音】【会話中の文法の運用】【会話中の語彙の運用】【なめらかさ(流ちょうさ)】【聴き取り】など総合的にレベルを判断します。半年間の授業最終日には、受講生が自身の英会話力の短所・長所を理解し、学習に活かすことができるよう、講師からアドバイスシート(レポート)を作成して渡します。

このように、英会話力向上を目指す者同士のつながりを作り、またその得た知識を仕事や地域のボランティアに役立たせるなど、生涯学習の場として英会話教室を維持・発展させていくことが大きな目標です。



▲授業風景

秋期のクリスマス・ポットラックパーティー。美味しそうな手料理やスイーツでテーブルがいっぱい!▼



## 園員の皆様へ

### 龍谷大学大学院

### 社会人入学推薦希望者

### 募集のご案内

当学園ではかねてより「地域人材育成に係る相互協力に関する定書(同大学大学院修士課程公共人材総合研究プログラム(法学研究科・政策学研究科…一年制・二年制、経営学研究科…二年制))を龍谷大学と締結しています。今までは当学園職員のみ推薦することが可能でしたが、二〇一六年度からは、その対象を当学園の園員の皆様にも拡大いたしました。

このプログラムは公共的活動や公共政策を主導しコーディネートできる人材の養成を目的とし、仕事を続けながら「地域公共政策士」資格取得を目指します。授業は主に龍谷大学深草学舎で受け、授業後の時間帯(18:25～21:35のうち一講時九十分または二講時連続授業)と土曜日の、週二回程度の通学により課題研究型の論文を完成させます。

なお、この協定により推薦入学試験を受け合格したもののうち、大学が適当と認められた者には専攻科により半額もしくは全額の奨学金が与えられます。

現在経営学研究科(二年制)への推薦希望者を受け付けています。(大学への出願期間…二〇一六年一月十二日(火)～二十二日(金))

詳細については、事務局・河原田までお問い合わせください。

## ラポール学園の講座をチェック!② 2月4日(木)から受講生募集

### 入門 篆刻 絵や手紙、書に華をそえるオリジナルの「石印」をつくってみませんか?

講師：前川 峰雲 (日展作家・読売書法会評議員)  
平成26年度 篆刻の部 文部科学大臣賞受賞

受講日：毎月第2・4木曜・午前10時から12時

あけましておめでとうございます。

ラポール学園で『篆刻教室』の講師を担当しています前川峰雲です。

昨年3月から開講しています「入門篆刻」教室の紹介をさせていただきます。

篆刻とは、主に篆書体を使って石に刻み込む印(ハンコ)のことです。

『方寸の世界』とも言われ限られた四角い空間の中に書的要素、彫刻的要素、絵画的要素を詰め込んだ味わい深い素晴らしい芸術です。

日本画や書の作品の隅に朱色の印が押されているのを見たことがありますよね。印は書や絵に押印されると、より一層作品を引き立ててくれます。

現代篆刻では印そのものを作品として製作し、鑑賞するようになりました。(写真)

開講から9ヶ月、受講生の方々と一緒に日々楽しく勉強しています。

普段の教室では、初めての方から経験者まで、それぞれの技量に合わせた自由な課題に挑戦しています。本格的な作品からアルファベット印や絵などバラエティに富んだ作品作りをと考えています。

白、赤、黒のコントラストそして作品を推す瞬間の緊張感を楽しんでみませんか。



## 初めての インターンを受け入れました!

2015年8月7日から10月7日の間の10日間、京都府立大学公共政策学部3回生の行部 黎(ぎょうぶ れい)さんがインターンとして本学園に来られました。行部さんには、ラジオ広報の企画・制作や労働セミナーの運営補助等に携わっていただきました。何事にも一生懸命な彼女の姿に、職員も刺激を受けた10日間でした。

## 受講生・来園者の皆様 ぜひご利用ください



ロビーに専用のパソコンを設置しています。受講生及び来園者の皆様に勤労者関連情報、相談窓口情報を閲覧していただける他、更に、求職中の方には求人情報の検索も可能です。ぜひご利用ください。

## 2016年1月～3月の予定

12月29日～1月4日 年末年始の休業

1月5日 仕事始め

1月8日 パソコン教室2月生受付開始10時～

2月5日 パソコン教室3月生受付開始10時～

府市民教室2015年度第4期受付開始10時

3月7日 京都労働学校・英会話教室春期生募集開始

3月中 春の公開セミナー

## 第7回優遊展



日本画教室の有志による第7回優遊展が寺町三条のギャリエヤマシタで11月17日(火)から22日(日)まで開催されました。当学園の講師中村文子先生の指導のもと、受講生のみなさん33名の力作が出展され、370人あまりの来場者が会場をにぎわしていました。

## 第2回圭風会展

水墨画教室の有志による圭風会展が9月4日(金)から8日(火)まで祇園の空・鍵屋(スペース・かぎや)で開催されました。当学園の講師西尾圭子先生の指導のもと、受講生のみなさんの力作が出展され、会場をにぎわしていました。



## お知らせ

勤労者学園事務局は、12月24日(木)・25日(金)・28日(月)は午後5時まで受付、29日から1月4日(月)まで年末年始の休業、1月5日(火)・6日(水)は5時まで、7日(木)から平常通りの業務となります。